

## 平成20年度地域密着型金融推進計画の進捗結果 (平成20年4月から平成21年3月まで)

平成20年度の進捗状況、進捗結果に対する分析および評価

平成20年度は、以下のとおり概ねスケジュールどおり進捗しました。

### 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

経営支援先を選定し、事業の早期再生のための経営改善計画の策定支援を行ったほか、創業・新事業関連融資の取扱開始、ビジネスマッチングへの積極的な取組み、浜松商工会議所および地元商工会や外部専門家との連携、中小企業施策の活用、事業承継問題への対応等により、取引先企業のニーズや状況に応じた支援を行いました。また、世界的な金融不安が続く中で、取引先企業の円滑な資金繰りに貢献するために、経営支援体制をより一層強化しました。

そのほか、取引先企業への有効な支援のためには人材の育成が不可欠と考え、外部講師による勉強会を実施して職員の能力を向上させるとともに、有効な支援を継続するために、提案の標準化・効率化に取組みました。取引先企業の支援強化の目標設定に対する実績は以下のとおりです。

目標設定項目	20年度目標	20年度実績
経営改善計画策定先数	20先	20先

### 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底

取引先企業の状態を把握するために、研修・勉強会等により職員の目利き能力の向上を図るとともに、融資開拓活動等により正確な定量情報と適正な定性情報の把握に努めました。また、担保・保証に過度に依存しない融資商品として、事業性融資の新商品「しんきんMEサポート」の取扱を開始し、取引先企業に提供しました。今後も、引き続き職員の能力の更なる向上を図り、取引先企業の実態に応じた資金供給に努めます。

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

昨年設立した「静岡県西部地域しんきん経済研究所」の情報提供機能を利用して、地域の情報を地域の取引先へ発信しました。また、多重債務者問題への対応や、中学生に対する金融教育の実施、「館山寺温泉街まちづくり協議会」への参画等、地域活性化のためのサービス提供に努めました。

### 4. 協同組織金融機関としての取組

金庫の経営管理態勢をより一層強化するため、法令等遵守の徹底、リスク管理体制および収益管理体制の充実に取り組みました。また、信用金庫としての機能を強化するために、会員に対するアンケートを実施しました。アンケートの結果を今後の経営に活かしていきます。平成20年度は概ねスケジュールどおりに進捗しましたが、この取組は金庫の健全経営のための恒久的な課題として捉え、昨今の不安定な経済環境に対応すべく引き続き取組を強化していきます。

アクションプログラムに基づく個別項目の進捗結果

項目および要請事項	具体的取組策	実施スケジュール		進捗状況		備考
		20年度上期	20年度下期	平成20年度上期	平成20年度下期	
<b>1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化</b>						
(1) 事業再生						
早期再生の取組と持続可能性のある事業再構築	シミュレーションソフトを使って支援企業の現状を分析・把握し、支援先ごとに支援方針と活動方針を決定する。 また、進捗状況を常に管理し、進捗状況に応じて支援活動方針を再構築する。	支援先を選定し支援方針を検討する。 改善計画を作成・実行し、支援先企業のモニタリングを実施する。 中小企業支援策の勉強会を実施し活用先を検討する。 中小企業再生支援協議会を活用した再構築を検討する。	引続き改善計画に基づき経営支援を継続し、支援先企業のモニタリングを実施する。	支援対象先を選定し支援方針を検討した。 支援担当者を対象に、中小企業支援策の勉強会を開催した。 中小企業支援協議会の担当者による、事例研修を実施した。 静岡県内他信用金庫の経営支援担当者会議に同席し、経営改善支援の取組事例に関する情報交換を行った。 経営改善計画策定先数 8先	中小企業再生支援協議会の活用について対象先をリストアップし協議した。 地域力連携拠点事業や中小企業支援策を活用し支援先を支援した。 経営改善計画策定先数 12先 金融の円滑化対応として、40先をリストアップし経営改善計画の妥当性を検証した。	<目標> 経営改善計画20先策定 <実績> 経営改善計画20先策定
(2) 創業・新事業支援						
創業・新事業進出ノウハウの提供	創業計画策定支援や中小企業支援施策等の情報を提供するとともに、新事業進出における経営革新計画策定アドバイスをする。 また、新商品の開発や地元商工会との連携等により創業ニーズに応える。	創業希望者に対して事業シミュレーションの策定をサポートする。 地元商工会にて創業塾や経営革新講座をサポートする。 創業関連融資商品を開発する。	創業希望者に対して事業シミュレーションの策定をサポートする。 経営革新計画の作成をサポートする。	創業希望者に対して事業シミュレーションを行った。 舞阪町商工会の経営革新講座をサポートした。 新居町商工会の創業塾をサポートした。 創業関連融資の新商品「創業サポートプラン」を開発した。	創業資金「創業サポートプラン」の取扱を開始し、事業シミュレーションの策定等創業者支援を実施した。 経営革新計画について相談を16件受け、うち、経営革新計画の作成サポートを5件行って認定を受けた。	<「創業サポートプラン」の実績> 件数：2件 金額：5,800千円 <経営革新計画の相談実績> 16件(うち、認定5件)
(3) 経営改善支援						
コンサルタント能力・態勢の強化	経営支援担当者を対象とした勉強会を開催する。また、提案効率を高め提案レベルを平準化するための支援ツールを作成する。	中小企業支援策についての勉強会を開催する。 効果的な提案活動をするために、提案書作成ツールを整備する。	提案書作成ツールを活用し、提案活動を行う。	しずおか産業創造機構の企業支援チーム担当者を講師として、営業店支援担当者を対象に中小企業支援策についての勉強会を開催した。 提案書作成ツールを開発し、全店で共有化することにより、提案書作成の効率化や提案内容の標準化を図った。	提案書作成ツールによる提案活動を実施した。	<提案書作成実績> 38件(うち、全国緊急保証制度の活用提案17件)
ビジネスマッチングを活用した支援	「しんきんビジネスフェアin Hmamatsu」および「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に参画するとともに、その他のビジネスフェアの開催情報を提供する。 また、えんしん経営者クラブが主催する交流会を開催し、ビジネスマッチングを支援する。	「しんきんビジネスフェアin Hmamatsu」の出展企業の募集を行う。 「しんきんビジネスマッチングフェア2008」の出展企業・発注企業・産学連携ビジネス大賞を募集する。 えんしん経営者クラブ主催、「組織活性化セミナー&交流会」を開催する。	「しんきんビジネスフェアin Hmamatsu」を開催する。 「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に参画する。 「新春経営セミナー&交流会」を開催する。	「しんきんビジネスフェアin Hmamatsu」に向けてプロジェクト委員会に参加し、出展企業の募集等開催の準備をした。 えんしん経営者クラブ主催により「組織活性化セミナー&交流会」を開催し、ビジネスマッチングの場を提供した。 東海地区信用金庫協会主催「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に向けて、出展企業・発注企業、個別相談、産学連携ビジネス大賞を募集した。	浜松信用金庫との共催で「しんきんビジネスフェアin Hamamatsu」を開催した。 東海地区信用金庫協会主催の「しんきんビジネスマッチングフェア2008」に参加した。 えんしん経営者クラブ主催の「新春経営セミナー&交流会」を開催した。	
中小企業施策の活用	中小企業施策に関する情報提供や各種計画の認定支援を行うとともに、外部機関と連携して当該機関の経営改善支援策を活用する。	地域力連携拠点事業に参画して、取引先の経営改善支援に役立てる。 取引先に対して各種中小企業施策に関する情報を提供する。	上期の取組を継続する	浜松商工会議所、浜松信用金庫、静岡県商工会連合会が行う地域力連携拠点事業に連携パートナーとして参画した。また、浜松商工会議所と当金庫・えんしん経営者クラブの共催による「マテリアルフローコスト会計セミナー」を開催した。 各々の地域力連携拠点事業のセミナー情報を発信した。 「今すぐやる経営革新」等中小企業庁発行の中小企業施策のパンフレットを全店に配布した。 経営革新計画の認定サポートを行った。 舞阪町商工会が行う「経営革新塾」に講師として参加するなど協力・支援を行った。	地域資源活用プログラム相談に対応した。 マテリアルフローコスト会計の個別研修を開催した。 地域力連携拠点事業の専門家派遣制度を利用して経営支援を行った。 地域力連携拠点事業を通じて「企業力・技術力評価事業」を実施した。	
(4) 事業継承						
事業承継問題に対する相談体制の構築	事業承継問題に対する相談に対応できるような人材を育成する。 また、専門的な事業承継問題に対応できる外部機関等と連携し相談体制を構築する。	事業承継問題に対応できる「事業承継Q&A事例集」を作成する。 浜松商工会議所の事業承継支援センターと連携し、相談体制を構築する。 税理士による事業承継個別相談会を開催する。 事業承継問題の相談に対応する。	事業承継問題の相談に対応する。 「後継者育成セミナー」を開催し、事業承継ニーズに対応する。	税理士による事業承継個別相談会を開催した。 事業承継Q&A事例集を作成し、渉外担当者を対象に説明会を行った。 浜松商工会議所事業承継支援センターとのパートナー連携による事業承継相談体制を構築した。	「後継者育成研修」(全5回)を開催した。 中小企業投資育成会社による勉強会を開催し、取引先に対して事業承継に係る資金ニーズなどの相談に応じた。	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ、中小企業に適した資金供給手法の徹底						
(1) 担保・保証に過度に依存しない融資						
目利き機能の向上	税理士、専門家等による金庫内研修を実施する。	静岡県信用金庫協会による目利き講座へ職員を派遣する。	自主勉強会を実施する。	・静岡県信用金庫協会が実施する「目利き講座」へ支店長2名を派遣し目利き能力の向上を図った。 ・当金庫経営情報室の中小企業診断士を講師として自主勉強会を2回実施し、職員のみ利き能力の向上を図った。	自主勉強会を実施する予定で進めていたが講師等の日程の調整がつかず実施できなかった。	
担保・保証に過度に依存しない融資の推進	既存先融資および創業時融資等の実態を把握し、事業性融資の新商品を開発するとともに、融資開拓活動の実施により推進を図る。	融資開拓活動を実施する。	融資開拓活動を実施する。 ・地域活性化に対応した新商品を開発する。	融資開拓活動を実施した。 また、担保・保証に過度に依存しない新商品として「しんきんMEサポート」(設備担保信用補充制度)の取扱を開始した。	融資開拓活動を実施した。 また、新たに事業を開始しようとする事業主への融資商品として「創業サポートプラン」の取扱を開始した。	<融資開拓活動実績> 訪問件数：10,737件 融資提案件数：36件 新規事業所融資件数：308件  <「しんきんMEサポート」の実績> 申込受付件数：3件
定性情報の適正評価	日常的なコミュニケーションにより収集する定性情報の精度向上と信用格付への反映活用を図る。 また、取引先の知的財産や技術力など企業活動を評価し、審査へ反映させる。	決算時に経営環境や企業体質等を聴取し、それらの定性情報等を信用格付や融資審査に反映させる。	上期取組を継続する。	・定性情報をスコアリング化し信用格付に反映させた。 ・定性情報の適正な評価を行うために、目利き能力の向上を目的とした外部研修へ参加した。また、中小企業診断士を講師として自主勉強会を実施した。 ・会議等を活用して信用格付の更新について説明した。	当金庫内の自己査定の実態において、債務者の実態を十分把握したうえで事業の特性や定性情報を考慮するよう指導した。	
定量情報の質の向上	財務諸表の正確性を前提に外部格付を活用しつつ信用格付の精度を高めていく。	税務申告用決算書・付属明細書の徴求を徹底し、外部格付との整合性を検証しつつ信用格付の精度を向上させる。	上期取組を継続する。	実態バランスシートの適正化を図るために、税務申告用決算書・付属明細書より不明瞭資産を把握し、信用格付の精度を高めた。	常に試算表・資金繰り表等を徴求しその企業の実態を把握するよう指導した。	
動産・債権譲渡担保融資の活用	定期的・継続的モニタリングにより企業の実態を把握し資金需要に対応していく。	・ <b>売掛債権担保保証制度</b> への取組を強化する。 ・ <b>設備担保信用補充制度</b> 「しんきんMEサポート」の取扱を開始する。	設備担保信用補充制度「しんきんMEサポート」の利用促進を図る。	・平成20年9月1日より、「しんきんMEサポート」(設備担保信用補充制度)の取扱を開始した。 ・設備担保信用補充制度の説明会を実施した。	「しんきんMEサポート」(設備担保信用補充制度)を推進した。	
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献						
(1) 地域の面的再生						
各地域における地域再生協議会等との連携	「館山寺温泉街まちづくり協議会」全体会議へ参画する。	「街並・景観に関するルール作り」「温泉街の魅力アップ事業の企画」中心に全体会議に参画し、地元のみちづくりに貢献していく。	上期取組を継続する。	特に進展がなかった。	景観計画と仮称「門前ひろば」の基本計画を確認した。	
地域顧客に対する情報提供機能の強化	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、地域顧客に対し、金融経済動向等の情報提供を行う。	・NPO法人静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、金融経済動向等の情報を提供する。 ・NPO法人静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、セミナー・勉強会等を支援する。	上期取組を継続する。	・NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」が発行する「リサーチニュース」「しんきんパートナー」「景況レポート」を取引先へ配布した。 ・「静岡県西部地域しんきん経済研究所」と連携し、新居町商工会主催の創業塾、経営革新塾の支援を行った。	NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」が発行する「リサーチニュース」「しんきんパートナー」「景況レポート」を取引先へ配布した。	
(2) 地域活性化のためのサービス提供						
地域を担う若い世代への金融知識の普及	地域の学校へのお前講座、営業店における学生の職場体験等とおして基礎的な金融教育について指導する。	・ <b>生涯学習インストラクター</b> 資格を有する職員などを活用して地域の学校に金融教育を実施する。	上期取組を継続する。	中学2年生対象に金融教育を行うにあたり、「地域経済における信用金庫の役割」などを主な内容とするテキスト作成に着手した。	中学2年生に対して職場体験を実施し、「地域経済における信用金庫の役割」等をテキストとして金融教育を行った。	
多重債務者問題への対応	NPO法人「えんしん地域サポート」と連携し、相談会情報等を発信する。また、当金庫による無料相談会情報を発信する。	・NPO法人「えんしん地域サポート」と連携し、相談会等により多重債務者問題に対応する。 ・多重債務者問題の相談会の案内チラシを作成し、配布する。	上期取組を継続する。	・NPO法人「えんしん地域サポート」と連携し、毎月多重債務者問題の無料個別相談会を開催した。 ・静岡県司法書士会・多重債務者問題対策委員会主催の、「貸金業法・利息制限法」に関する研修に参加した。	NPO法人「えんしん地域サポート」と連携し、毎月多重債務者問題の無料個別相談会を開催した。	

4. 協同組織金融機関としての取組						
(1) 会員との関係強化						
会員からの意見の金庫業務への反映	会員に対するアンケートを実施する。	アンケート項目を決定しアンケート用紙を作成する。	アンケートを実施し、その結果を集計および分析し、金庫業務への反映を検討する。	アンケート項目等を決定した。	会員等に対してアンケートを実施し、結果を集計・分析した。	<アンケート> 配布枚数 : 736枚 回収枚数 : 708枚 回収率 : 96.2%
(2) 経営力の強化						
法令等遵守の徹底	勉強会・講習会等を実施し、コンプライアンスの認識を強化するとともに、各種会議でコンプライアンス臨店指導結果等を開示し、改善を図る。	・「パワー・ハラスメントのない職場づくり」「内部統制の強化に向けて～不祥事の撲滅を目指して」の2冊の冊子を参考書として勉強会を実施する。 ・会議でコンプライアンス抵触が懸念される苦情の事例を発表し、再発防止を図る。	・「メンタルヘルスハンドブック」を参考書として勉強会を実施する。 ・不当要求防止責任者講習を開催する。 ・各種会議等でコンプライアンス臨店指導結果等を開示し、改善を指導する。	・「パワー・ハラスメントのない職場づくり」と「内部統制の強化に向けて～不祥事の撲滅を目指して」の2冊の冊子を参考書として各店での勉強会を実施した。 ・コンプライアンスオフィサー会議で苦情事例を発表し、再発防止を図った。	・外部講師による役員、営業店長、本部課長を対象とした研修を実施した。 ・全職員で「メンタルヘルスハンドブック」「内部統制の強化に向けて～定期積金編」を参考書として勉強会を実施した。 ・次長職を対象に不当要求防止責任者講習を開催した。 ・金庫全体の各種会議でコンプライアンス臨店指導結果の報告と不備事例を開示し、改善・再発防止を図った。	
リスク管理体制および収益管理体制の充実	リスク管理精緻化のため、リスク計測手法を検証し改善方法を検討する。また、ALM委員会の充実を図るため、討議内容等を検討する。併せて、能力向上と人材育成に努める。	・市場VaR、信用VaR算出手法を検証する。 ・ALM小委員会の充実を図る。 ・リスク管理とALMに関する研修等に参加する。	・市場VaR、信用VaR算出手法の改善を検討する。 ・「ALM委員会規定」の見直しを検討する。 ・リスク管理とALMに関する研修等に参加する。	・ALM委員会を充実させるために、外部講師による研修会を実施した。 ・「NBA基礎講座」に参加して、現状の市場リスク管理方法、市場VaRの算出方法等を確認した。 ・現状の信用VaR算出方法を確認した。 ・ALM小委員会用の資料を作成し、小委員会の活性化を図った。 ・外部講師による証券基礎研修を開催した。	・市場VaR、信用VaR算出手法の問題点を把握した。 ・日本銀行の「金融高度化セミナー」に参加した。 ・全国信用金庫協会の「統合リスク管理講座」に参加した。 ・全国信用金庫協会の「収益管理講座」に参加した。 ・「ALM委員会規定」の一部を改訂した。	

## 経営改善支援の取組状況

経営情報室と営業店が連携してお取引先企業の経営改善支援に取り組んでいます。  
お取引先企業の現状分析に基づいた経営改善計画策定のアドバイスや、計画策定後の進捗状況のフォローを行う等、お取引先企業とともに経営改善に向けて取り組んでいます。  
平成20年度の経営支援取組実績は次のとおりです。

【20年4月～21年3月】 平成20年度 経営支援取組実績

(単位:先)

	期初 債務者数  A	うち 経営改善支援 取組み先数	のうち期末に	のうち期末	のうち再生	経営改善 支援取組 み率  / A	ランクアッ プ率  /	再生計画 策定率  /	
			債務者区分がラ ンクアップした先 数	に債務者区分 が変化しな かった先数	計画を策定し た先数				
正常先	3,724	0		0	0	0.0%		-	
要 注 意 先	うちその他 要注意先	439	38	8	28	8	8.7%	21.1%	21.1%
	うち 要管理先	17	5	3	1	0	29.4%	60.0%	0.0%
破綻懸念先	139	9	3	5	1	6.5%	33.3%	11.1%	
実質破綻先	76	1	0	1	0	1.3%	0.0%	0.0%	
破綻先	13	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計 (～の計)	684	53	14	35	9	7.7%	26.4%	17.0%	
合計	4,408	53	14	35	9	1.2%	26.4%	17.0%	

- (注)
- ・期初債務者数および債務者区分は20年4月初時点で整理しました。
  - ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含んでいません。
  - ・には、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しました。
  - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでいません。
  - ・「再生計画を策定した先数」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」

<用語解説>

全国緊急保証制度	一定の売上高減少または原材料価格の高騰を製品価格に転嫁不能等の理由で、必要な事業資金の調達に支障を来している事業者(指定業種に属する中小企業者)に対する信用保証協会の保証制度です。
ビジネスマッチング	金融機関のお客さま同士をビジネスでつなぐことです。
地域力連携拠点事業	商工会議所・商工会・地域金融機関・各種支援機関等が連携して、中小企業が抱える問題解決に向け経営相談・専門家派遣・情報提供・ビジネスマッチング等の支援を行い、中小企業の経営の向上を図る事業です。
目利き機能	目利き能力とは、企業の将来性や技術力を的確に評価する能力のことをいいます。当金庫においても、企業の事業運営の仕組みを理解する力を高め、創業企業および取引先企業に対する経営相談・支援機能を発揮できる人材を育成する等目利き機能の向上に努めています。
定性情報	貸借対照表や損益計算書等の数値・データおよびそれらの推移等を定量情報と言うのに対して、企業が持つ技術力や市場環境等を評価したものを定性情報と言います。
信用格付	統一的な基準で企業を評価することにより企業評価を標準化するとともに、貸出に係る信用リスクを計量化することにより貸出資産の健全性を確保する仕組みです。
売掛債権担保保証制度	事業者が取引先に有している売掛債権を担保として信用保証協会が融資を保証する制度です。
設備担保信用補完制度	お客さまが保有する機械設備を担保として、その価値を基準にリース会社と信金中央金庫が融資を保証する制度です。
NPO法人「静岡県西部地域しんきん経済研究所」	県西部地域を対象として、経済動向の把握、中小企業に対する経営情報の提供、生活者に対する金融経済知識の普及等を行うことを目的として、浜松信用金庫と共同で設立したシンクタンクです。
生涯学習インストラクター	自治体や教育委員会でも住民の協力を得て地域のまちづくりや公民館、各種施設など地域での生涯学習を推進する動きが活発化していますが、生涯学習インストラクターはその地域の要請に応えるよう自治体の文化活動への指導・企画立案・助言を行うプロフェッショナルとして(財)社会通信教育協会が認定した資格です。
NPO法人「えんしん地域サポート」	浜松市及びその周辺の地域・住民に対して、社会的弱者への支援、経済の活性化、文化・生活環境の向上及び個人の能力向上等に関する事業を行い、もって公益の増進と地域社会の経済・文化等の活性化と発展に寄与することを目的に、金庫役職員が中心となり平成19年2月に設立したNPO法人です。
会員	当金庫に出資をされている方です。当金庫の地区内に住所または居所を有する方、事業所を有する者もしくは勤労に従事する方で、事業者においては、従業員300人以下または資本金が9億円以下に限られています。
法令等遵守(コンプライアンス)	急激な時代の変革の中でより健全経営を遂行していくため、企業・職業倫理の向上に努め、日常業務運営において法令や規則等を遵守して違法行為等の早期発見や事故等の未然防止を図ることで。
ALM	Asset Liability Management の頭文字をとった言葉です。資金の調達・運用に係るリスクを最小にして収益の極大化を図るべく、資産と負債を総合的に管理する手法のことです。
VaR	Value at Risk の頭文字をとった言葉です。将来の特定の期間内に、一定の確率の範囲内で資産の現在価値がどの程度損失を被るかを、過去のデータをもとに理論的に算出した値で、リスク量の計測に使われます。